



横浜女学院中学校

2022年度 中学入試出題傾向

英語



試験の概要

①面接(25点) ②リスニング(15点) ③口述描写(20点)

①～③それぞれ説明を含め10分ずつ程度で計30分の試験。

150語前後の英文の音読。文章のレベルは3級程度。

本文の内容を理解しているか確認する問題に答える。

本文の内容に関係する「**自らの考えを述べさせる問い**」に答える。

→小さな文法ミスや発音ミスは減点せず

「内容重視」の採点 : コミュニケーション手段としての英語



面接 試験内容① 音読について

「相手に伝わる読み方」をしているかどうかを重視
→ 発音の上手さよりも**抑揚**が大切

例) My father cooks dinner for us every Sunday.

単語の発音が正しいかを確認

注意) 声が小さいと0点になってしまいます。



面接 試験内容② 質疑応答(1)について

本文の内容を理解しているかどうか問う質問

フルセンテンスで答えなくても良い(減点無し)

例) What's his interest? — [He's interested in] tennis.

「質問の聞きなおし」は1度まで減点なし

20秒以内に解答を始めないと次の質問へ移行

注意) 声が小さいと0点になってしまいます。



面接 試験内容③ 質疑応答(2)について

本文の内容についての「自らの考えを述べさせる問い」

例) 孤立する留学生 → あなたならどうしてあげる？

ぞんぶんに語ってください！

答えよりも「**なぜそう思うか**」を重視

例) × I like tennis because it is fun.

20秒以内に解答を始めないと次の質問へ移行

注意) 声が小さいと0点になってしまいます。



面接 その他(加点对象)

解答する際は、試験官とアイコンタクトをするように心がけましょう。

面接室の出入りや、面接カードのやり取りの際に礼節を忘れないようにしましょう。

質問について答えるとき、自信がなくてもとにかく何か答えてみましょう。



リスニング 試験内容

内容は**3級レベル**だが、**少し長めの英文**を聞く。

内容についての問題を**3択で3問出題**



口述描写 試験内容

英検**準2級**レベル

口頭で発話をし、イラストの内容を説明する問題。

英検準2級～2級の過去問題を用いて練習しておく和良好的です。

国語



50分間の試験問題

昨年度までと変わらず、大問一～三での出題です。

	問題形式	問題数	配点	小計	合計
1	漢字問題 ← 3分	☐5問	2点	10点	100点
2	文章読解 ← 20分	☐8問	5点	40点	
3	文章読解 ← 27分 100字記述問題のツ	☐9問	8問 5点 記述1問10点	50点	



1. 漢字

200字程度の文章の中で

「読み・書きの問題」 4問

「誤字訂正問題」 1問

を出題します。



2・3. 文章読解 出題パターン

I

2. 文学的文章(物語・随筆)
3. 説明文 100字記述の問題を含む

II

2. 説明文
3. 文学的文章(物語・随筆) 100字記述の問題を含む

→ I・IIのいずれかの形式で出題します。



3. 100字記述問題

自分の考え・意見を記述する問題が出題されます。
採点基準には3つの観点があり、それぞれ3点ずつ
となり、計9点。途中点もつきます。90字以上の解答
で1点となり、合計10点満点の問題となります。

最後に・・・

Q-1. 100字記述問題の対策は何をするべき？

A-1. 日頃から、世界や国内で起きている問題に関心を持ち、**自分の言葉で論理的に意見が述べられるように**しましょう。また、その際に理由が述べられるようにしておきましょう。誤字や脱字にも注意しましょう。

Q-2. 文章問題は、読みながら解答するのがよいですか？ 読み終わってから解答するのがよいですか？

A-2. どちらがよいかは、言い切ることはできません。しかし、**解答の根拠がぼう線部の前後にあって、読みながら解答できる問題も多い**です。

算数

50分間の試験問題



以下の4つの種類の形式での出題です。

	問題形式	問題数	配点	小計	合計
1	計算問題 ← 4分	4 <input type="checkbox"/> 1	4点	16点	100点
2	基本問題 ← 12分	6 <input type="checkbox"/> 2	4点	24点	
3	資料問題 ← 5分 (途中式欄あり)	1 <input type="checkbox"/> 3	6点	6点	
4	応用問題 ← 24分 (途中式欄あり)	設問9 <input type="checkbox"/> 4 ~ <input type="checkbox"/> 6	6点	54点	

40点



1. 計算問題

整数・小数・分数の四則計算。標準的レベル。

計算の順序を正しく行えるか、小数や分数の計算をきちんと行えるかを見る問題。

工夫することによって計算が簡単になるものもあります。

(時間に余裕があれば・・・)問題用紙に途中の計算をきちんと書き、しっかり見直しをするとよいです。

解答用紙には答のみ記入。答が帯分数の場合は、仮分数でも正解とします。



2. 基本問題 【小問】

割合や比、速さ・いろいろな特殊算、数の性質、場合の数、平面図形、空間図形から基本レベルでの出題。

各分野の典型的な問題のみ出題。網羅系の参考書や問題集に載っているような基本問題。

(時間があれば・・・)問題用紙に式をきちんと書き、式と計算をしっかりと見直しをするとよいです。

解答用紙には答のみ記入。答に単位がつく場合は、解答用紙に単位は書いてあるので数字のみ記入。



3. 資料問題

複数のグラフや表などの資料を分析する力を問う問題。

6点満点で1問のみの出題。

途中式を書く欄があり、中間点を設けています。



4. 応用問題

大問3問にそれぞれ小問3問ずつの計9問です。

出題分野は、**整数、場合の数、平面図形の3分野**の
予定。

小問の(1)(2)は、文章をきちんと読み取ることができ
れば、解けるような基本的な問いになっています。

(3)は、(1)や(2)を踏まえた考えや、さらに発展的な
思考力が必要となることもあります。



4. 応用問題

記述式で中間点を設けています。

減点方式ではなく、加点方式。

答えが間違っているても、式、図、具体的に書き出す、文章、考え方、方針などさまざまなものに部分点をつけています。

表現力が不十分でも、どう伝えたいのかということも考慮しながら採点は行っています。

どのように勉強してきたか、どのように頑張っているかを少しでも点数化したいと考えています。



《注意事項》

図形の問題で、正方形の対角線や正三角形の高さを求める場合に比を使いますが、

「正方形の1辺と対角線の長さの比は1:1.4とせよ」、「正三角形の1辺の長さとは高さの比は2:1.7とせよ」というただし書きをその問題文に入れてあります。

なお、「円周率は3.14とせよ」は今まで通り、表紙の注意事項に記しています。

社会



30分間の試験問題→3分野で問題数と配点を同じに
以下の3つの分野での出題です。

	問題分野	問題数	配点	小計	合計
1	地理	10	2点	20点	60点
2	歴史	10	2点	20点	
3	公民	10	2点	20点	
		計30問			

誤字は不正解。

用語や人名は、漢字指定が基本。

漢字指定がなければ、ひらがなも可。



3つの分野のいずれか1つの分野から**思考力を問う・論理的に考えさせる問題**を出題。

歴史的な出来事や政治・経済政策に関して、その内容だけでなく、背景や理由、またその影響までを確認し、理解できるよう学習することが大切！教科書や資料集に載っている写真や地図などもよく見ておきましょう。



1. 地理分野

- ①世界地理・日本地理ともに出題されるが、**日本地理の問題数のほうが多い。**
- ②世界地理については、地域ごとのまとまりで出題。
- ③地域の特色(気候・位置・特産など)に注意。
- ④地球温暖化・SDGsなど時事問題も出題



2. 歴史分野

- ①古代～近現代の政治・経済・外交・文化史に関する短文もしくは資料を5つ読み、それぞれに関連する小問に答える形式。
- ②写真、地図、資料から問う問題を出題。
- ③歴史的出来事に関する正誤問題や正しい組み合わせを選ぶ問題を出題。



3. 公民分野

- ①時事問題に関連した**政治・経済・社会・国際分野**から**出題**。日本国内や世界の諸問題に対し、その背景まで考えることが重要。

- ②憲法や法律の文言は、**正しい用語を正しい漢字で書くこと**。



最後に・・・

難しい漢字や用語は意味をしっかりと理解し、**正確に漢字で書けるように**、何度も練習しましょう。

2021年に大きなニュースになった事柄は出題される可能性が大きいです！

過去問も見て、問題形式に慣れておきましょう。

理科



全て1問2点

	出題分野	問題数	配点	合計
[1]	生物	7～8問	14～16点	60点
[2]	地学	7～8問	14～16点	
[3]	化学	7～8問	14～16点	
[4]	物理	7～8問	14～16点	

得意分野を
得点源にしよう！

4分野で
だいたい均等



-
- 実験、観察に関する問題
 - 説明文を読んで答える問題
 - 表やグラフに関する問題
-
- 答えが複数存在する記述問題

思考力を重視！

・時速1里は 秒速何尺？

新しい知識を
既存の知識とつなげて
活用する思考力

[4] 今から100年前の1921年、日本で度量衡法^{どりょうこうほう}という法律が出来た。それまでの日本では尺貫法^{しゃっかんほう}と呼ばれる方法で長さや重さなどを測っていたが、この法律によってメートル法と呼ばれる方法で長さや重さなどを測ることが普通になっていった。

尺貫法における重さの単位には、匁^{もんめ}、両^{りょう}、斤^{きん}、貫^{かん}などがあり、以下のような関係が成り立っていた。なお、1匁というのはメートル法での3.75gにあたる。

- ① 1両は10匁である。 ② 1斤は16両である。 ③ 1貫は100両である。

(1) 1貫は何斤か答えなさい。

尺貫法における長さの単位の一つである「尺」は、メートル法での約30cmにあたる。計算を簡単にするために、ここでは1尺が30cmであるとして話を進めよう。尺貫法の長さの単位には他にも、里、町、間、寸などがあり、以下のような関係が成り立っている。

- ① 1尺は10寸である。 ② 1間は6尺である。 ③ 1町は60間である。
④ 1里は36町である。

(2) 5寸は何cmか答えなさい。

(3) 1里は約何kmか。もっとも近いものを以下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 2km イ. 4km ウ. 6km エ. 8km

(4) 時速1里は、秒速何尺と同じか答えなさい。



細かい話・・・

漢字のミスは減点対象です。

「ひらがな指定」や「カタカナ指定」がある問題にも注意。

「～にあてはまるもの」か「～にあてはまらないもの」なのかよく問題文を読みましょう。

入試について

校務部長 佐々木 準

出願方法について

出願方法		窓口出願	インターネット出願
出願期間	開始	1月6日	1月6日
	終了	試験当日	試験前日 23時59分
備考		受付時間 9:00～15:00 日曜・祝日は除く	入学願書・受験票 をプリント後、当日 持参

受験案内P2

日程について

	2月1日(火)		2月2日(水)		2月3日(木)
日程	午前 (A入試)	午後 (B入試) (特別奨学入試Ⅰ)	午前 (C入試)	午後 (D入試)	午後 (E入試) (特別奨学入試Ⅱ)
時程	8時15分～	15時00分～ または 16時00分～	8時15分～	15時00分～ または 16時00分～	15時00分～ または 16時00分～

午後受験について

- 午後受験は**15:00集合**と**16:00集合**があります。
- 昼食をとるスペースは校内に準備してあります。

入学検定料について

20,000円

※複数回同時出願の場合には2回目以降の検定料は必要ありません。

試験科目について

アカデミークラスのみ：国算・国算社理・国英・算英

国際教養クラスのみ：国算社理・国英・算英

国際＋アカデミー：国算社理・国英・算英

合否判定について

受験案内P9・10

得点率で合否判定を行います。

（4科目の場合、2回判定）

例）国語＋算数＝120点＝60%

複数回受験優遇措置について

受験案内P9

例) 2科目 (国語・算数)

	国語	算数	2科合計
A入試	40点	65点	105点
B入試	65点	40点	105点

B入試判定 **65点65点 130点**

得点開示について

- 校内掲示及び再掲示の日時

例) A入試⇒1日14:30~16:30

- 受験生のみ・受験生と保護者・保護者のみ
- E入試は除きます

受験案内P6

特別奨学入試について

- 合格者は入学金および中学3年間の学費免除
- 問題はBまたはE入試のものと同じ
- 合格点のボーダーが異なる

受験案内P9

特待生について

A~E入試において特に優秀な成績を者を合格
を与える。

特待生A: 入学金および1年間の授業料免除

特待生B: 入学金免除

受験案内P10

チャレンジ受験について

例：アカデミークラスに合格した後...

特別奨学入試合格・特待生A・特待生B・国際
教養クラス合格・特進クラス合格を目指しそれ以
降の受験回を無料で受けることができる。

(※出願していない場合は窓口まで)